

図書館利用者と石神井図書館長との懇談会

- 1 日時 令和元年10月31日（木）10時～12時
- 2 場所 石神井図書館 2階 会議室
- 3 参加者 利用者 11名
図書館 3名（石神井図書館長、副館長2名）
- 4 テーマ 「地域と共に歩む石神井図書館～新たな時代に向けて～」
- 5 配付資料 (1) 石神井図書館の概要、事業イメージ、平成31年度事業体系図
(2) 教育要覧（図書館部分抜粋）、石神井図書館事業実施報告書
(3) 練馬区立図書館講座・講演会等事業実施一覧
(4) 平成30年度石神井図書館への主な意見・要望一覧
(5) 地域図書館に期待される役割と事業（昨年度提案の事業と取組）
(6) しゃくじい読書活動ノート
(7) 図書館だより（第42号）、しゃくじい図書館通信第13号
- 6 次第 (1) 石神井図書館長挨拶
(2) 図書館職員紹介
(3) 参加者自己紹介
(4) 図書館事業概要説明および事業報告
(5) アンケート等に見る石神井図書館への意見・要望など
(6) ねりま・ふるさと紙芝居「火消稲荷さま」実演（富田副館長）
(7) 意見交換（懇談）
①地域を支え、地域支えられる生涯学習の拠点としての図書館
②その他
(8) その他

図書館利用者と石神井図書館長との懇談会 会議録

1 石神井図書館長挨拶

皆さん、おはようございます。石神井図書館長をしております岩田と申します。本日は大変お忙しい中、当館に足をお運びいただき、真にありがとうございます。

本日は、年一度の図書館をご利用されている皆様と館長との懇談会という機会を設けさせていただきました。10月27日から11月9日までが「秋の読書週間」となっておりまして、この読書週間に合わせて区内各図書館でこのような懇談会を開催しております。

毎年ご参加いただいている方が多いのですが、改めまして、簡単に自己紹介をいたします。石神井図書館長としては4年目となりました。前職は教育委員会事務局で社会教育主事をしておりました。地域と行政をつなぐパイプ役として、さまざまな事業のコーディネートやプログラムづくりなどを行ってまいりました。また、高齢者支援業務に何年か携わっていた関係で3年前に埼玉県にケアマネージャーとして登録もさせていただいております。また、区のスポーツ推進サポーターとして、地域スポーツ振興のお手伝いや小学校の授業で障害者スポーツ「ボッチャ」の体験指導もしております。それらの経験を活かして

本日は、「地域と共に歩む石神井図書館～新たな時代に向けて～」と題し、これからの図書館運営、図書館サービスについて、皆様のさまざまな活動の中からご意見を頂戴しながらいろいろなお話しをしていきたいと思っております。

さて、今回、テーマの副題に「新たな時代」とつけさせていただいたのは、令和の時代に入り、国や地域が期待する機能・サービスを捉えた「新たな時代の図書館」といったものとは別に、当館も来年度から、練馬区公共施設等総合計画に基づき、区直営から指定管理者館に移行することになったことを踏まえたことにあります。

現在、区立図書館は12館1分室ございますが、そのうち9館が指定管理者館として運営されています。民間事業者や公益法人などが管理運営にあたっているわけですが、4月から石神井図書館が指定管理者館に移行することとなりました。図書サービスなどが大きく変わることはありませんが、これまで石神井図書館が積み重ねてきた地域とのつながりが今後の課題ではないかと考えているところです。そこで、今日は改めて、新たな時代において「地域と共に歩む石神井図書館」を皆さんと考える機会となればと思っている次第です。

なお、昨年と同様に、この石神井地域で活動している施設の方や団体の方、町会・自治会長の方にも予め、お声をかけさせていただきました。また、常日頃、図書館を利用されている区民の皆様にもご参加もいただき、このように大変多くの方と懇談ができること大変、ありがたく思っております。

有意義な懇談となるよう、よろしくお願いいたします。

2 図書館職員紹介（副館長2名自己紹介）

図書館 副館長の富田です。石神井図書館は2年目となりますが、その前は練馬図書館にいました。どうぞよろしくお願いいたします。

図書館 本日はこの懇談会の司会を務めます、4月から副館長として来ております木下と申します。これまで南大泉地区区民館、豊玉北地区区民館の館長として、いろいろなサークル活動や町会の活動のための施設貸出や高齢者や児童が毎日遊びに來たりする施設に居りました。読み聞かせのボランティアの方、にも毎月お世話になりましたし、敬老館と卓球の連携事業をやったり、児童館との連携事業もやってまいりました。また、町会とも餅つき大会などで、いろいろお力を借りてやってきました。こちらでも地域の方々といろいろと汗を一緒に流したいと思っておりますので、遠慮なくお声がけください。今考えているのが高齢者の体操です。図書館と違ったことも、少し私が来たので入れてみたいと思い、認知症予防、介護予防に向けて2月ごろにできればと考えております。あと、地域の方と一緒に花や草木を植えかえたり、少しでも緑を増やすようなこともできればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

3 参加者自己紹介

図書館 所属団体などがあれば、簡単に活動紹介や図書館とのつながりなども添えていただければと思います。また、区民の一般参加の方は、差し支えがなければお住まいの町名だけでもご紹介くださるようお願いいたします。

利用者 石神井児童館の館長をしております。児童館は、名前ぐらいは聞いたことがあ

るかと思いますが、0歳から18歳までの子どもとその保護者が利用できる施設でございます。先週の土曜日にちょうど秋祭りが終わりました。図書館とのつながりという、児童館にも図書室があり、いろいろとご蔵書もありますが、ほとんど埃をかぶっているという状態です。漫画、コミック、その辺はよく利用されているのですが、子どもたちの本離れみたいなものは常々感じているところです。一方で、今日ご参加いただいている、おはなしの会の方にも月1回来ていただいて素話を子どもたちに聞かせていただいたりして、幼児の保護者の方が図書室の本を借りていくのがこのところ増えてはいます。しかし、小学校に入ると継続しなくなってしまうというのが問題なのかなと思っています。今日は、いろいろとお話を聞いて、児童館の図書室もうまく活用できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

利用者 白百合福祉作業所の施設長をやっております。主に知的障害者の支援施設でございます。図書館とは、協働でいろいろな事業をさせていただいております。例えば、定期的に来て利用者の方たちに読み聞かせをしてくれたり、先週の土曜日には施設のお祭りにおいて地域の子どもたちに向けておはなし会をしてくれました。また、地域防災ということで、ふるさと文化館と図書館さんとうちの施設で、災害が起きたときの対応などを話し合う情報交換会もしております。今後も図書館と共に地域の方に貢献できればとっております。

利用者 石神井庁舎の4階にあります地域包括支援センターから参りました。本日、センター長が別件で不在のため、代理で参加いたしましたのでよろしくお願いいたします。地域包括支援センターは、主に65歳以上のご高齢の方を対象に、日々活動させていただいているのですが、ひとり暮らしの方とか、高齢者のみの世帯というのも、今多くなってきております。図書館をご高齢の方の活動の場、いこいの場の一つとして、私たちもご紹介させていただいておりますので、今後、図書館と何か協働で開催できればと所内で話しているところですので、今後ともよろしくお願いいたします。

利用者 石神井公園ふるさと文化館長をしております。ふるさと文化館も6年程前から指定管理者制度を導入しており、私は区の文化振興協会職員という立場になります。私自身はもともと学芸員で、東京都の東京博物館分館で江戸東京たてもの園というところの園長をやっておりました。数年前に早期退職をしまして、2年ほど前からふるさと文化館で働いております。私どもの館でもさまざまな連携事業を図書館とやっております。一番大きなところでは、博物館の展示に合わせて、図書館でも連携展示を行い、関連図書や内容の展示をしていただいております。また、図書館が作成しているふるさと紙芝居やその他いろいろと出版物をつくる際に、私どもの学芸員がアドバイスをさせてもらっております。基本的なところでは、私も含めてこちらの図書を借り、いろいろ詳しく調べるなど、調査をする際に本当にお世話になっております。

利用者 練馬区消費生活センターで所長をしております。私どもは石神井公園ピアレス2階に施設がございます。いま大規模改修中でどんどんきれいになっておりますので、是非、来ていただいて、新しくなったことを実感していただければと

思います。図書館ともつながりがありまして、消費生活展というイベントにおいて読み聞かせに来ていただいております。それと、情報コーナーに資料を置いてありますが、こちらで不要になった本をいただき置かせていただいております。

利用者 練馬区では、こちらの布の絵本の会や地域文庫の読書サークル連絡会にも所属し活動をしております。よろしくお願いします。

利用者 私は出版業を神保町で50年余やっておりました。10年前にやめまして、大泉に住んでいます。私は、図書館をよりよくする会という図書館団体を今やっていますが、なかなか同志が集まってきません。神保町でやっていたときは、区が何でもやらせてくれたのですが。後ほど、まとめて話をさせていただきますのでそのときはよろしくお願いいたします。

利用者 地元、石神井の町会長をしております。石神井小学校の卒業生ですので、子どもの時は図書館に毎日通ったのですが、大人になってから通うことが非常に少なくなりました。昨年初めてこの会に出させていただいて、もう1年たってしまいました。私自身は、ここに来ればただで読めるものがいっぱいあるとわかってはいますがつつい本屋に行って買ってしまうので、少し反省しています。ここに来て、少し勉強になると思っております。地域の声もなるべく届けたいと思い参加させてもらっておりますので、役割を果たせたらと思っております。

利用者 石神井図書館布の絵本の会こぶしの代表をしております。石神井図書館に所蔵されている布の絵本の補修や新しい絵本をつくる、そういうお手伝いをさせていただいております。元々、この図書館で布絵本の講習会がありまして、その受講者が中心になって立ち上げた団体です。このたびは、私どもの作った布の絵本を展示していただきありがとうございます。この間、活動後に皆で拝見させていただいて、お互い頑張ったという感じで感動したり、気持ちを新たにしております。

利用者 いろいろな図書館で子どもの読書活動に参加させていただいています。こちらでは、幼児の読み聞かせが主です。それから、学校を含めておはなし会がたまにあります。それにも参加させていただいています。この図書館では図書館専門員として、結構長いこと働いておりました。

利用者 ねりまおはなしの会に所属し、石神井台七丁目に住んでいます。今から40年前に今ここにいらっしゃる館長を交えておはなしの会ができたということで、おかげさまで今では会員も50人になって大きくなりました。今は読書週間中で、これまでの歩みの中で、あちらこちらの学校や地区区民館、図書館などで子どもたちとお話をさせてもらっています。それで、こういう懇談会にはなかなか出られなくて、敬遠したいようなところがあるのですが頑張っている方がいいのかなと思い来ました。私たちはこれからどうやって歩いていくのかを絶えず考えながら、後輩たちに伝えていきたいと思っています。

利用者 同じく、おはなしの会から参りました。私は、長いこと幼稚園で教師をしていて、お話の楽しさを子どもたちと一緒に知ったのですが、退職した年にこのおはなしの会があると知って加えていただき、とても楽しく活動させていただいております。

利用者 ねりまおはなしの会から参りました。私は子ども4人の母親で大泉高校のそばに昔住んでいて、子どもたちはこの図書館の本を読んで大きくなりました。私自身も自分の子どもだけではなく、ご近所のお子さんたちと楽しみたいと思って、文庫を立ち上げまして約50年近くになります。すごい高齢になってしまいましたが、お子さんたちと遊んだりお話をしていく中で、私はきっと元気なのかなと思いながらおはなしの会をやっています。ただとても心配なのは、児童館に行っても、昔は伝承遊びとか大縄跳びとか、いっぱい遊べて、キャンプまでできたのに、今は、図書室や音楽室で壁のところはずらっと並んでゲームをしているお子さんがすごく多くなりました。私たちがいなくなった後の練馬区、日本、地球がとても心配になります。だから、ちょっとでもみんなでできることをして死なないと子どもたちに申し訳がないと思っています。11人の孫たちもこれから生きていくわけですから、このままでいいのかと思うと、私にできることは素語りしかできない、子どもの本の楽しさを伝えることしかできないと思っています。

子どもたちが、相手の気持ちを想像できるような大人になったら、凶悪犯罪などのひどいことは起こらないと思うので、自転車で老骨にむちを打って走り回っています。昔は文庫が50もあった練馬区ですが、個人の家にお子さんを一人で出すということは、なかなかできにくい世の中になり、児童館とか図書館などの公共の場所なら、子どもを出してくれます。図書館の方と一緒にやらなかったら、私たち一人ではできないのです。だから、今年ねりまおはなしの会も40年になりました。私も40年前からずっとやっているのですが、図書館の方に助けてもらい文庫もやってきました。何かしたいという話が出て、私たち40周年の記念おはなし会を図書館と共催するなどして応援をしていただき、図書館や地区区民館、児童館などで昔のおばあさんが語りをしているみたいな形の会を1年間通してできたらと願っています。

4 図書館事業概要説明および事業報告

5 アンケート等に見る石神井図書館への意見・要望など

6 ねりま・ふるさと紙芝居「火消稻荷さま」実演

図書館 それではここで先ほど館長からご報告いたしました、当館が地域づくり、ふるさと意識の醸成を目的として制作したふるさと紙芝居のうちの1作品を実際に披露したいと思います。区民の方が5回の講座で、実際に石神井公園ふるさと文化館が発行している「ねりまの昔話」を原作として、絵と脚本を自分たちで考えてつくり、完成した作品です。

では、はじめさせていただきます。（紙芝居実演）

こちらの紙芝居は、明日から石神井図書館で貸出を開始いたしますので、借りられるようになります。また、ほかの図書館の方でも11月の中旬から借りられますので、よろしければ、皆さんご活用くださいますようお願いします。

なお、このふるさと紙芝居ですけれども、ほかに3作ございまして、全部で4作あります。各12館1分室に4冊ずつ所蔵するという形になっています。また、講座参加者の方がサークルを作りました。今、会員を募集中です。この方たちが、全部で28話ある昔話をふるさと紙芝居として引き続き制作活動を続けていくこととなっています。

7 意見交換（懇談）

図書館 それでは、本日、懇談会のメインテーマであります地域とともに歩む石神井図書館～新たな時代に向けて～に関して、ご出席していただいた皆さんとともに考えていきたいと思います。新たな時代に向けた図書館運営、図書館サービスに関するキーワードを参考に、発想とかは自由ですので、いろいろとご意見をいただけたらと思います。いかがでしょうか。

利用者 このキーワードとは外れるのですけれども、一番全体のこととして、結局、新たな時代というのは、要するに管理者が変わるわけですね。

図書館 管理者が4月から変わりますが、管理者制度の問題については、光が丘図書館から回答をいたしますが、管理者についてどういったご質問なのですか。

利用者 要するに、ボランティアさせていただくという立場として、どういうふうになるのかが知りたいのですが。

図書館 一言だけ申し上げます。管理者制度に移行したからといって図書館の事業運営が大きく変わるわけではありません。ボランティアの方は、これまでどおりボランティアとして活動していただくことになります。

利用者 今までと全く同じだということですか？

図書館 ほとんど変わることはないと思います。ただ、大元を管理するのは光が丘図書館になります。

利用者 そういうことに対する説明会というのは設ける予定はあるのですか。

図書館 すみません。説明会を設けるかどうかは当館も聞いておりませんので、光が丘図書館に質問内容を伝達し、後でご回答させていただきます。

図書館 よろしいでしょうか。他にはありますか。

意見が出ないのであれば、地域性に関してお話しします。当館では、地域ゆかりの方の情報をあまり持ち合わせていなかったため、すぐご近所に武谷三男さんという原水爆関係で非常に有名な物理学者の方がいらっしゃることを知りませんでした。利用者の方から、武谷さんの著作を石神井ではなく大泉図書館に置いてあることのお叱りを受けて初めて知りました。そのような地域人情報などをふるさと文化館でお持ちであれば、ぜひ提供していただくと、地域ゆかりの作家展などもやりやすくなるのですが、そのような連携は可能でしょうか。

利用者 そうですね。ふるさと文化館分室で、練馬区という地域になりますが、区域の文化人、作家、漫画家や学者など、いろいろな分野の方の情報が 있습니다。今後、その人材情報の広報みたいなものを考えたいと思っています。そのような情報は、いろいろと調整することは可能だと思います。

図書館 他にお願いします。

利用者 私は上石神井に長いこと住んでいて、ずっと文庫をしていましたが、上石神井の児童館も、保育園も委託になっていますよね。先ほどの質問と重なるのですが、今年の場合、素敵なことをしておけば、委託になってもそれがずっと引き継がれていくということが、保育園や児童館を見ていても感じられました。あと少ししか期間はありませんが、石神井図書館でも委託になっても続けてやってもらえるような良い事業を私たちが提案したいと思います。例えば、先ほど読書会という話が出ましたが、私の子どもが大きくなった頃、親子読書会がとても盛んで、文庫もいっぱいありました。大人になった息子が、どうして最近親子読書会をやらないのだろう、あれはすごく楽しかった。あの時、自由にいろいろなことを語り合った会は学校にはなかった。それを聞いたときに、ういえば親子読書会は最近聞かないなと思いました。例えば、図書館で練馬に住んでいる方なら、1冊の本をみんなで集まって読む親子読書会をすることは可能なわけでしょうか。それから、先ほど言ったおはなし会も、図書館主催で保育園は無理というふうにおっしゃいましたが、保育園のお母さんも熱心ですから、土日を使えば親子で参加できます。パパと一緒にいくとか、親子で一緒にお話を楽しむ、読み聞かせを楽しむというのを今年度中に図書館で企画していただければ、来年度もできるのではないかと思いますのですが。

図書館 ありがとうございます。先ほど、保育園でできないと言ったのは、対象が小学校高学年となっている「ふるさと紙芝居」のことです。

利用者 だから、どうしておっしゃったのかなと。

図書館 内容が難しいと思いますが。

利用者 難しくないです。

図書館 そうですか。わかりました。

利用者 全然保育園の子どもたちは大丈夫ですから。

図書館 先ほど、児童館のお話も出たので、今日は児童館長もいらっしゃっています。石神井児童館は直営ですが、上石神井児童館とか、他の一部の児童館は委託で指定管理者制度を導入しています。それほど中身が変わることではないのだと思うのですが、いかがでしょう。

利用者 そうですね。基本的には変わらないです。

図書館 だから、図書館もそうなのです。それと、あと場所の件についてお話ししますと、親子読書は確かに大事な取り組みだと思うのですが、図書館ではなくても、例えば児童館などは、午前中、小さいお子様に開放しています。だから、図書館に限定しなくても児童館で活動されてもいいのではないかなと思いました。

利用者 でも、親子読書会は子どもがいないとだめですから。

利用者 今、その話をさせていただこうかなと思っていたのです。すみません、割り込んだ形になりましたが、児童館は、午前中小学生が利用していない時間帯というのは、幼児親子の方が利用をしています。

石神井児童館に限っての話になりますが、そのような利用者が自主サークル「わんぱく文庫」を作って、今も活動されています。そこで本の紹介とか、読み聞かせを月に1回程度行っています。おはなしの会の方も月1回、午後に主

に小学生低学年の子どもたちに素話をしていただいています。直接、図書館と関りはないのですが、いろいろなボランティア団体と図書館との関りを改めて本日知りました。今のように、図書館を中心にして、こうしたらよい、こう使えばよいといったことが話し合われると、例えば、お楽しみ会などで子どもに関しての遊びに関しては児童館として、どのような要望にも応えられるだろうなと思いました。ある部分を児童館がやらせてもらいますとなれば、図書館がそういう社会資源を結ぶ核になると、様々な活動が回って行くのではないかと、皆さんのお話を伺って改めて感じました。

図書館 ありがとうございます。私ども図書館が、コーディネーターとして役割を果たせないかなといつも思っています。例えば、児童、子ども関係の活動をされていたり、高齢者のおはなし会などの活動をされているボランティアを図書館がコーディネートして、児童館や地域包括支援センター、場合によっては障害者就労支援施設や消費生活センターなどにつなげていきたいと考えています。そこでいま、高齢者施設へのお話しボランティアを育成するために、町会・自治会にお願いしてボランティア募集チラシを1,800枚まかせていただきました。すると、結構な人数の方がやってみたいと集まってくれました。私どもは本の貸し借りだけではなくて、地域をつなぐ拠点になるような図書館づくりをしていかなければいけないと思っています。来年度から指定管理者になりますが、それを引き継いでいかなければいけないと思っています。

図書館 よろしいでしょうか。他にはありますか。

利用者 ちょっと、いいですか。11時半に終わるのではないですか。

図書館 当館では、テーマに対して皆さんが十分な意見交換ができるように、正午までの2時間予定しておりますのでまだ30分ございます。

利用者 すみません、見守り型図書サービスについてです。昨年度ご提案していただいて、ぜひこういう高齢者見守りは大切だと思いますし、練馬区で一番結構強くうたっているところですので、昨年度からの進捗状況を教えてください。

図書館 まだ態勢が整っておらず、検討に至っていないというのが率直なところです。図書館がそういった役割を担う必要性を理解するところから始めなければならぬので時間がかかると思います。また、私共地域図書館だけでは進められません。事業案については、光が丘図書館には伝えてありますので、今後、検討されると思っています。

利用者 そうですか。私たちも見守り訪問事業と言って、65歳以上の高齢者のお宅を一件一件アポなしで回るという事業をやっておりますので、そこも協力できたらなと思っています。実施にあたっては費用は掛かりませんので。

図書館 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

なお、先ほど提案したフレイル健診に関連しますが、高齢者対象の介護予防教室みたいなものを無償で、例えば月1回、第三木曜日だとか決めていただきやるというような企画を共催できればいいと思っているのですが。

利用者 はい、もちろん。ご協力できます。

図書館 そうですか。私的には、そういう考えを持っています。先ほどの大和市のシリ

ウス図書館のような形に、石神井図書館がなっていけば、多くの方がもっとも
っと足を運んでくれる、足を運べば健康寿命が延びて健康になるという、その
サイクルになってくるかと思いますので。

利用者 私どもも一応検討して、提案させていただきます。

図書館 ありがとうございます。

あと、障害者支援に関してですが、以前、白百合福祉作業所と共催で交流会
をやりましたが、またお考えとかはないですか。

利用者 毎年、地域学習会という形で、地域の方たち向けに障害に関しての知識だとか、
施設に対しての理解だとかということを深めていただくために行っています。
なかなか集客という部分で苦戦しています。今は白百合で、施設公開に合わせて
やっていますが、以前、この場所をお借りしてやらせていただいたこともあり
ました。広報という部分で、図書館にご協力をいただいて、よりたくさんの
地域の人が来ていただけるように進めていきたいと思っています。将来的には、
またこちらを使わせていただいて、たくさん人が集まる場所で開催したいと思
っています。先ほどの話のように、地域の拠点となり得る図書館というところ
では、今後とも取り組んでいただき、われわれとしても一緒に何かできるかなと
と思っています。

図書館 私どもの利点は資料がいっぱいそろっているところです。だから、障害者支援
と言うことでは、知的障害者、発達障害など、いろいろなハンディキャップが
ありますが理解を深めてもらう手立てはいろいろあると思います。例えば、図
書館では様々な講座とか講演会などを開きますが、テーマに関連して必ず連携
展示というものをさせていただいています。地域学習会においてもそのような
機会が作れば良いと思います。

それと、話がかかりますが、放課後デイサービスという、これは障害児が通
う学童クラブのような場所があります。そこで出張お話し会をしていきたいと
も考えていますが、いま手いっぱいできない状態にあります。ボランティア
さんの力がないとできません。私も障害児との関りがいろいろありまして、実
際にボランティアをしています但对応や関係性づくりが難しいと感じています。
なかなか放課後デイまで取り組める図書館も少なく、やはり経験・知識のある
ボランティアの力が必要に感じます。所長の方で、放課後デイはどのぐらいの
規模で、どういうことをやっているのか、具体的にお話いただければと思いま
すがいかがですか。

利用者 結構、放課後デイは増えています。事業者さんごとに、いろいろな方針をも
ってやっていますが、レクリエーションだとかは非常に重要視している部分
だと思います。読み聞かせというのはやってくれると、すごく放課後デイさ
んが助かるのではないかと私は思います。

事業者としては、そういうことをやってくれるということを多分知らないと思
いますので、どんどん広報していけば、絶対に皆さん利用してくださるの
ではないかなというふうに思います。

図書館 たしか、放課後デイができ上がって、7、8年ですか。

利用者　そうですね、そのぐらいです。

図書館　当初は、放課後デイもメニューが少なく、ただの箱だけという施設もあったように聞いています。今は、そういうことはないと思いますが、高齢者施設もそうなのですが、意外と読み聞かせのようなプログラムを求めていると考えています。ですから、そういう施設にも図書サービス、読書活動を入れていくという情報の発信基地にならなければいけないと思っています。それは図書館スタッフ自身が勉強しなければいけないし、そして情報を持っていなければいけないので、それはきちんと指定管理者の方に引き継いでいきたいと思っています。

利用者　そのお話しのついでなのですがよろしいですか。

学校で私たちのおはなし会もやっているのですが、学校には障害のクラスもあります。その障害のクラスで本を使わないでお話だけでやっていますので、本当に声がかかれば会員五十何名いますので行かれると思います。お年寄りもちろん大事だし、障害の方のところにも行かないといけないし、幼児のところもすごく大事だと思っていますので、そういうふうに繋げてくだされば行かれるようになると思います。

図書館　情報を集めておきます。経験を活かしながら図書活動のネットワークができればよいと思います。

利用者　石神井図書館はものすごく頑張ってくださいって、特にこの1年間目まぐるしくいろいろな事業を展開してくださったと思うのですが、逆に区立図書館事業一覧を見ると、ほかの図書館では、まだ同じような事業が行われていないというか、そこは光が丘図書館に頑張ってもらわなければいけないのだと思います。事業成果を光が丘図書館に上げていただいて、練馬区内全体に広めていただくような形をぜひとっていただきたいと思います。そうでないと、ある意味、石神井地区は図書活動を軸とした地域づくりができてきたが、ほかの練馬区の地域の方は、まだそういうふうにならないという地域差が生じてしまいます。高齢者サービスに関しては、それが特に言えるかと思います。全ての事業に関して言えますが、事業をやるからには、その職員の努力だけでなく、他のたくさんの職員と、ボランティアの方たちが力を合わせていく、マンパワーがすごく必要になってくるのだと思います。そういう意味では各地域で、介護の方、施設の方たちが協力して、先ほど言ったコーディネーターというものが、すごくこれから重要になってくるかと思います。石神井だけではなく、光が丘図書館が全部を見て進めていかれるかどうかということも合わせて、各図書館でのコーディネート力が発揮できるような形での指定管理というものが機能していくように考えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

図書館　先ほどの高齢者サービスと言いますか、高齢者出張おはなし会のボランティア育成については光が丘図書館が引継ぐ運びになっています。

もう一つコーディネートの力に関してお話ししますと、社会教育法が改正されて、来年の4月1日から社会教育士という制度ができます。4月1日以降は、社会教育主事任用資格を持っている者が、社会教育士を名乗って活動で

きるようになりました。今後そういった方を配置、活用して地域のコーディネートをしないと、司書だけではなかなか難しいと考えています。

利用者 最近、感じていることなのですが、園長と私たちで話をして、保育園で3歳児から年長さんまでの間にお話をさせてもらおうというところが、少しずつ広がっています。そこに参加したときに子どもたちの聞く力もあり、すごく喜んでくれるので、保育園でこういうのがあるととてもいいと感じています。その辺のコーディネーターというの、どういう形で広がっていくかを図書館でも知っていただいといていいと思っています。

図書館 そういう面を含めて、新たな時代として、図書館はいろいろなところに行かなければいけないと思います。先ほどA3版のいろいろな図書館でやっている事業を並べた資料がありましたが、石神井図書館は行っていませんが保育園に行っている図書館は結構あるのです。

利用者 そういったボランティアのお話が来れば、ご要望により、若い会員が行くこともできると思います。

図書館 わかりました。その辺は少し情報をまとめてお願いしたいと思います。

利用者 今、保育園も量と質を問われている時代だと思うので、その辺の受け入れをしようと思いました。

図書館 では、日ごろの図書館サービスに対するご意見などがありましたらお願いします。

利用者 中断していますが、今月4日に私どもの読書会の夏目漱石の講演をやりました。そうしました、45人程参加があり、後で聞きましたら読書会に5人入会希望の電話で来たということでした。講演は、大学では漱石を教えていた私どもの会員でした。参加費は無料でしたので、大泉図書館では合同でやりました。図書館がチラシも作ってくれました。

だから、何でもやってみないとだめです。区民は苦労したらだめです。あなた方は、いろいろと事業を組立っているけれども、区民を使うのです。区民と一緒にやるのです。それでないとだめです。

図書館 そう、おっしゃるとおりです。区民の皆さんと共にやっていかないと、いろいろな施設を回ってお話し会はできません。区の職員だけではとてもじゃないけれどもできません。

利用者 みんなボランティアです。一生懸命に区民と一緒にやったらいいのです。

図書館 ありがとうございます。ごもつともだと思います。至らない部分もあるかもしれませんが、一生懸命、一緒にやろうと思ってやっていますし、やっていきたいと思っています。時間も押してきましたので、ほかに何か、皆さんの前でお話をしたいことがありますでしょうか。

もしなければ、今まで発言がなかった方、せっかく来ていただいているので何か一言、感想などをお願いします。

利用者 図書館は、意外と館長の思いや考え方が反映するところだなと、私は実感しています。資料を見ると、この何年間はいろいろな事業を企画されて、すごく素晴らしいと思っています。特に、小林綾子さんや新井素子さんを呼べることに

すごくびっくりして、こういうことができるのだなと。同じ区職員なので、開催にこぎつける大変さをわかっているのも、それを作り上げた功績は素晴らしいと思っています。来年以降も館長の企画力・実行力を継承していただければいいと思います。

利用者 一応、地域の石神井図書館ということですから、石神井のこの辺の人たちが対象かなというふうに思うので、一つは宣伝についてお話しいたします。去年も同じようなことを言ったのではないかと思うのですが、私は南田中図書館のポスター掲示は非常に多いのです。しゃくじい図書館通信は、なかなかいろいろと書いてあっておもしろい。これだけつくるのは大変だなと思いながら見ていたのですが、このような立派なものでなくていいので、単純に先月はこれだけ来たとか、今こんな本が読まれているとか、そのような数字の羅列だけでいいから、報告してもらえると、私も図書館に行って借りてこようとか、読んでみようとか、そのようなきっかけになるのではないかと思います。これだけつくるのに多分、相当時間と労力を使っていると思うのですが、毎月は無理でも、せめて春、夏、秋、冬、四半期に1回ぐらいは前回はどうだったと、今月はこうだったと、今はこんな本が読まれているというようなことを、きちんと知らせていただけると、一つ目安になるのではないかという気がします。それと、企画だと思うわけです。こちらの最初の資料の1－1などに載っていますが、来館者数など前年はどうだったのかと、聞きたかったです。減ったのか増えたのか、その理由は何なのかということを、分析していかないといけないと思います。そういったことも一つの資料になると次回はそういう資料があれば、もう少し討論しやすいかなと思いました。

図書館 ありがとうございます。そうですね、来館者でいうと受取窓口が上石神井にできましたし、石神井公園駅の近くにも受取窓口があります。そこで本の貸し借りが全部できてしまうので、ここまで足を運ぶという来館者の数は、減少しています。ただ、本の貸出数は区全体で比べれば増えています。それと、具体的な数字は今、手元にありませんが事業をやることによって、相乗効果で本の貸出数が増えているというデータもあります。

利用者 ありがとうございます。おかげさまで高齢者施設でのお話し会ボランティアも、先ほど館長からの話にもありましたように、反響がありますので、この後、時間があったら、町会の方とお話ししたいと思いますので、よろしくお願いします。

利用者 私は、本当に子どもの輝く顔を見るのが一番楽しみでやっているようなものなのですが、この石神井図書館の役割は研修館だったわけですね。それが指定管理者館になってしまうと、ただ光が丘に行って何とかしろというのではないのですが、研修館の役割は、どうなるのかなということが何か気になります。

図書館 石神井図書館の役割として担っているのが、全12館1分室の業務マニュアルの維持管理です。どこでも業務の標準化で同じようにサービスが提供できなければいけませんので、マニュアルというのを作っています。それと、職員研修を行うのが石神井図書館です。さらに、高齢者の読み聞かせ事業を担っているボ

ランティア育成を石神井図書館が行ってきましたので、この機能は光が丘図書館に移管します。

利用者 指定管理の会社の人も来るのですか。

図書館 指定管理の方は、こちらの現場のサービス提供だけになります。今言った三つの機能については、区の仕事ですので関わることはありません。研修については、指定管理者館は、独自で研修をやっていますので、区の研修に加わるということはありません。

利用者 私は、子どもたちのお話をするボランティアをここで始めて、また新しく高齢者施設にも行き始めて協力を2回ほど参加させていただきました。本当にこれでいいのかなという思いがあり、ほかのボランティアの方とも交流したり、あるいは研修したりしなといけないと思っています。まだ今のところ2回ですが、大事なことはわかるのですが、これから先、どういうふうに行ったらいいのかと考えてしまいます。こっちの子どもの方のことももっと広げたいというのがあって、その辺をもう少し研修なり、情報なりをいただきたいと思います。

図書館 実は、毎回この懇談会で、2年前からボランティアの交流会という話をいただいているが、まだ実施できていません。今年度中にボランティアの交流会、そういったものをできればなというふうには思っておりますので、そのときにまたお話いただけたらと思います。ありがとうございます。

いろいろなご意見をいただいた中で、地域がこういう場でつながっていく、図書館がコーディネーター役とかになっていけばいいと思っている話が、なるほどと思いました。また、図書館も町会・自治会、あるいは包括支援センター等々に、もっと今まで以上につながっていけたら、相互メリットがあるのではないかと、個人的に感じました。確かに、私たちがここにいて頑張れるのも時間も限られていますが、その残り時間、地域の方々とつながって、より地域に貢献できればと思っています。今後も遠慮なくいろいろとご意見やご要望をいただければと思います。

8 その他

図書館 それでは、次第の最後、その他に移りたいと思います。ご案内ですが、今回の懇談会の内容につきましては、来年3月までに練馬区の図書館ホームページに載せて、どなたでもごらんいただけるようにいたします。

次に、この読書期間中の事業案内ですが、明後日11月2日土曜日、午後2時から午後3時半まで、この会議室で知的書評合戦ビブリオバトルを開催いたします。発表者のバトラーは締め切っておりますが、観覧は自由ですので、お時間のある方は、ぜひご来場ください。そのほか、1階において小林綾子と練馬と東映と題した展示、2階ではふるさと紙芝居の展示、石神井公園ふるさと文化館分室で開催中の壇一雄の俳句の世界とタイアップした連携展示を行っております。帰りがけにごらんいただければ、幸いに存じます。

最後に、アンケートのご協力をよろしくお願いしたいと思います。お帰りの

際、受付の箱に入れてお帰りいただければと思います。それでは、予定して
いました時間通りに終わることができました。本日は、真に大変お忙しい中、
ご参加いただきましてありがとうございました。以上をもちまして、令和元
年度石神井図書館利用者と館長の懇談会の方を終了させていただきます。

直営館としては、最後の懇談会でした。皆さんとお会いできて、
本当に嬉しく思います。今後とも、末永く石神井図書館をよろしく願い
いたします。本日は、ありがとうございました。